

平成30年度事業・収支報告について（案）

平成31年3月28日
全国農業再生推進機構

I. 平成30年度事業報告

1. 実需者と産地とのマッチング支援

(1) 米マッチングフェア2018の開催

株式会社グレイン・エス・ピーと共同で、平成30年度米穀周年供給・需要拡大支援事業のうち業務用米等の安定取引拡大支援（以下、周年事業という）を活用し、生産者・JA等と広域で活動する実需者、地域で活動する実需者の双方を対象とした展示商談会・セミナー・現地交流会の取り組み（米マッチングイベント2018）を以下のとおり開催した。

また、米マッチングイベント2018の産地向けの募集説明会を以下のとおり、全国8箇所で開催した。

<米マッチングフェア2018概要>

【大阪会場】

- ① 日時：平成30年7月4日(水)～6日(金)
平成31年1月16日(水)～18日(金)
- ② 場所：リーガロイヤルNCB（大阪府大阪市北区中之島6-2-27）
- ③ 開催概要：

	平成30年7月	平成31年1月
展示商談会	出展団体：16団体 来場者：のべ123名	出展団体：27団体 来場者：のべ100名
セミナー	来場者：のべ90名	来場者：のべ90名
現地交流会	西日本豪雨のため中止	参加者12名（視察先： 滋賀県内生産法人）

【東京会場】

- ① 日時：平成30年8月8日(水)～10日(金)
平成31年2月6日(水)～8日(金)
- ② 場所：ホテルグランドパレス（東京都千代田区飯田橋1-1-1）

③ 開催概要：

	平成 30 年 8 月	平成 31 年 2 月
展示商談会	出展団体：29 団体 来場者：のべ 220 名	出展団体：31 団体 来場者：のべ 225 名
セミナー	来場者：のべ 170 名	来場者：のべ 150 名
現地交流会	参加者 17 名（視察先：茨城県内生産法人）	参加者 22 名（視察先：埼玉県内生産法人ほか）

【セミナー(東京会場)の様子】



【展示商談会(東京会場)の様子】



<産地向け事前説明会>

日にち	場所	日にち	場所
5月23日(水) 大阪	TKP ガーデンシティ東梅田	6月8日(金) 東京	TKP ガーデンシティ竹橋
5月29日(火) 福岡	TKP ガーデンシティ博多新幹線口	6月12日(火) 仙台	TKP 仙台カンファレンスセンター
5月30日(水) 広島	TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前	6月15日(金) 新潟	ホテルサンルート新潟
6月1日(金) 名古屋	TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口	6月19日(火) 札幌	TKP 札幌駅カンファレンスセンター

<チラシ・新聞報道等>

【米マッチングフェア2018ポスター】

【日本農業新聞(平成 30 年 8 月 9 日付)】

- ② 開催時期については、夏・冬と2回開催したが、「夏だけの開催でも良いのではないか」「生産法人は夏、作業もあることから冬のほうがよいのでは」という意見も出ており、産地側・実需者側双方にとってより効果的な開催に向けた検討が必要である。
- ③ 出展者については、直近の需給が均衡していることをふまえると、新たな出展者を確保することが課題。また、参加いただく実需者については、おにぎりやカレー、寿司など用途別にほしいニーズをふまえた見せ方など工夫が必要である。
- ④ お米マッチングフェア2018（日米連と共同）については、お米マイスターに関する会議とセットで開催したこともあり、商談会・セミナーに関係者も参加して取り組むことができた。こうした関係団体の会員も巻き込んだ形での開催は参考になると思われる。

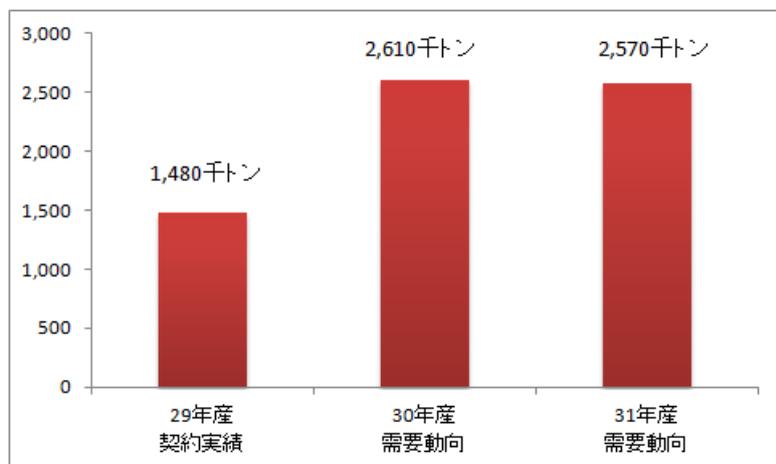
2. 情報共有および主体的な取組の促進

(1) 需要動向調査について

需要動向調査については、会員であるJA全農が独自に、主要販売先を対象とした主食うるち米の需要動向調査を実施した。

その結果概要を提供してもらい、全体の傾向を分析すると、直近の需給状況をふまえ、主要取引先が実際契約した実績（販売実績）よりも、多くの数量希望があがる傾向となったこと（29年産実績対比で30年産・31年産とも170%強の購入希望）、また、主要取引先に限定した調査となったため、調査対象母数が限られているため、産地別・用途別等の具体的に正確な需要動向を把握するに至らないという調査結果となった。

【JA全農が実施した主食うるち米の需要動向調査の結果概要】



(備考) 過去調査で継続して調査対象としている取引先の集計値。

(2) ホームページの開設と産地との情報共有

全国農業再生推進機構のホームページ (<http://www.zenkokusoshiki.jp/>) を立ち上げ、需要に応じた生産に向けた産地との情報共有を行った。

【全国農業再生推進機構ホームページ】



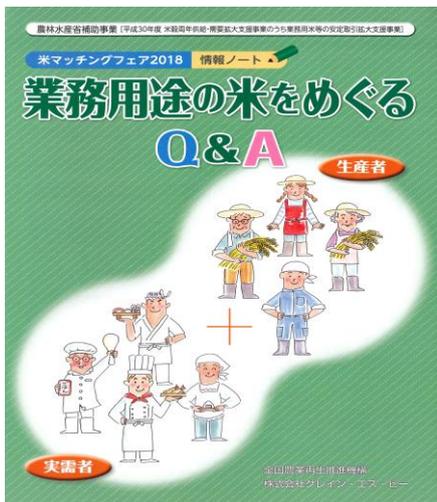
(3) 「業務用途の米をめぐるQ & A」の制作および配布

業務用途の米の需要に応じた生産・販売に向けた理解促進の資料として、「米マッチングフェア2018情報ノート 業務用途の米をめぐるQ & A」を企画・制作した。

中食・外食で使うコメとは？、需要があるのに入手しにくい？、産地の動きは？といった業務用途の米をめぐる基本的な状況を理解する内容となっている。

会員を通じた傘下会員等への配布のほか、上記のマッチングフェア等の会場来場者に対しても配布を行った。

【業務用途の米をめぐるQ & A】



3. 会員間の情報交換・意見交換

平成30年度については、以下の会議等を開催し、会員間の情報交換等を行った。

(1) 総会：平成30年7月25日（書面）、平成31年3月28日

(2) 幹事会：平成30年7月9日、平成31年1月25日

II. 平成30年度収支報告

平成30年度収支については、Iの1.(1)の事業で、農林水産省から補助金80,000,000円の交付を受け、その範囲内で事業を実施した。事業完了後、事業実施にかかる精算額79,417,989円を、農林水産省に対し交付請求し、3月20日付で精算額全額の確定通知を受けている。

なお、Iの1.(1)の事業以外については、全国組織として収支予算上、経費等は発生していない。また、事務局にかかる人員・経費については、事務局を担当するJA全中にて対応した。

以 上